

非稼働病床を有する医療機関に対する地域医療構想推進委員会の対応方針等に関する意見

(西三河南部西構想区域)

1 地域医療構想推進委員会における対応について

(1) 病床がすべて稼働していない病棟（過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟。以下「非稼働病棟」という。）を有する医療機関への、地域医療構想推進委員会における対応

A	非稼働病棟を有する全ての医療機関に対して、地域医療構想推進委員会への出席、説明を求める。	4名
B	地域医療構想推進委員会の協議を経て、事前に非稼働病棟に対する具体的対応方針を決定する（地域医療構想推進委員会への出席、説明を求める場合等を定める）。	15名
C	その他	0名
	()	0名

※意見なし：5

(2) 非稼働病棟を有する医療機関に地域医療構想推進委員会への出席を求めた場合において、①病床を稼働していない理由、②当該非稼働病棟の今後の運用見通しに関する計画についての説明以外に説明を求めたほうが良い事項

A	①病床を稼働していない理由、②当該非稼働病棟の今後の運用見通しに関する計画についての説明で十分である。	16名
B	上記以外に次の事項の説明を求めたほうが良い。	2名
	○非稼働病棟の返上(可能なら、医療圏内でのスライドを優先)の意思があるかどうか。 ○どのようにすれば稼働できるか。当該構想区内の医療機関同士の協力により解決できるか。	2名
C	その他	1名
	(該当病院に対し、委員会として何か出来ることはないか聞き取りを行う。)	1名

※意見なし：5

2. その他、非稼働病床を有する医療機関に対する対応についての意見

○満床で、救急不応需に困っている病院がある事実を地域医療構想委員会の中で直接理解してもらい、非稼働病床を早く放出していただく、働きかけが不可欠であると考えます。

○非稼働病床を有効活用するには、どのような支援や協力をすればよいのか、という視点が必要である

3. 対応方針（案）

非稼働病棟を有する医療機関への対応方針について、平成 30 年度第 1 回地域医療構想推進委員会で対応方針案について協議

1 案 平成 30 年度第 2 回の推進委員で非稼働の理由、運用見通しについての意見を聴く

- ① 平成 30 年度第 1 回推進委員会終了後、非稼働病床を有する医療機関から、書面により「理由、今後の見通し」を提出いただき、各委員に書面により意見等を聞く。
- ② 委員からの意見の中に、説明を求めた方がよいとの意見があれば、第 2 回推進委員会に出席いただき、説明を求める。

2 案 平成 31 年度第 1 回の推進委員会で非稼働の理由、運用見通しについての意見を聴く

- ① 平成 30 年度第 2 回推進委員会で、非稼働病床を有する医療機関から、書面により「理由、今後の見通し」を提出いただき、協議を行う。
- ② 資料だけでは不十分であった医療機関に関しては、平成 31 年度の第 1 回推進委員会に出席いただき、説明を求める。

○非稼働病棟への対応方針に関する意向調査（案）

医療機関名	
記入者	
連絡先（電話番号）	

貴院が有する非稼働病棟（別紙に記載の通り、以下当該病棟）につき、お答えください。

- 1 当該病棟が非稼働となっている理由につき、ご記載下さい。

- 2 当該病棟の今後の運用の見通しについて

ア 稼働予定あり

イ 稼働予定なし

（アの場合にお答えください）

- 2-1 当該病棟の稼働予定時期と病床数についてご記入下さい。

稼働予定時期： 年 月 頃

稼働予定病床数： 全て 一部（ 床）

（イの場合にお答えください）

- 2-2 当該病棟を稼働させるには、どのようにすればよいとお考えでしょうか

- 2-3 西三河南部西構想圏域の医療機関同士の協力により解決できるでしょうか

- 2-3 地域医療構想推進委員会として何かできることはあるでしょうか

